みわを元気に

三和地域協議会ニュース　第５号　平成28年1月1日発行

三和地域の人口・世帯数
男　1,750人
女　1,828人
合　計　3,578人
世帯数　1,703世帯
(平成27年11月末　現在)

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

みわまちづくり講演会

みんなで考える地域交通の未来

ー 暮らしを支える、持続可能な交通システム ー

平成２８年 1月２３日（土） 午後１時３０分～ 三和荘ホール

「住民が主体となる地域づくり」を掲げて発足した三和地域協議会は、「みわを元気にして維持存続させる」ことをめざしています。そんななか、地域と暮らしを支える公共交通は、今、存続の危機といわれています。

日本全国 のバスや生活交通の現状を知る第一人者に、地域住民が支えるこれからの地域交通のあり方を語っていただきます。バスや電車にあまり乗らないという方も、生活に欠かせないという方も、地域交通のありかたについて、一緒に考えてみませんか。

講演会テーマ
「みんなで考えよう　持続可能な地域交通システム」

講演者　　鈴木 文彦さん
（交通ジャーナリスト）

＜講師紹介＞
フリーの交通ジャーナリストとして雑誌『鉄道ジャーナル』などにレギュラーとして執筆するほか、バス・鉄道に関する論文・取材記事多数。
近年は地方自治体やバス事業者におけるアドバイザーや講演活動も行なうほか、国土交通省の運輸関連の委員会委員も務める。NPO法人日本バス文化保存振興委員会副理事長。

新年のごあいさつ

三和地域協議会
会長　大槻 昭則

皆様のご協力・ご支援により「三和地域協議会」を発足させていただき、はや第４四半期・新しい年二〇一六年を迎えることとなりました。

二〇一五年は各地で地域交流カフェ・サロンの開設や検討、公共交通アンケートへのご協力、三和ふれあいフェスティバルへのご支援、当協議会における「生活基盤」「定住促進・情報発信」「地域活力」の三部会の活動それぞれに対するお力添え、いずれも三和地域に活力を注ごうとする皆様の姿勢に痛く感動する事柄ばかりでございました。

活動を始めて私たちはご期待・ご要望が想定以上である事を様々な機会を通じて実感しました。期待や要望に直ちにお応えするのが必要である事、お応えできなければすぐに失望や落胆へと変化し、やがて無関心層の中に埋没してしまう事は承知しています。

早々から言い訳は良くありませんが、私たちの活動は、まだその緒に就いたばかりです。私たちの目指すところは顧客満足、此処では「住民満足」が最終着地点であります。この目的地は到達が近づくとさらに高い目標が現れ、欲望や満足は到底満たされるものではないでしょう。

しかし、私たちは日々向上する事を心がけ、この地にお住まいの皆様に新鮮な情報と新しい知識を提供し、活発なご意見ご提案を頂戴し、老いて行く村でなく笑顔の見える、活力みなぎる、若者と共存できる村へと進化する、その夢を追い続けるべく新たな年の初めに決意しようと考えます。

三和ふれあいフェスティバル開催 11月7日・8日

三和ふれあいフェスティバル　フェスティバルの部が、11月7日・8日に開催されました。今年も、丹波・みわコトおこし協議会主催の軽トラ市との同時開催でした。8日はあいにくの雨でしたが、昼過ぎには小康状態になり、展示作品やパフォーマンス・試食・健康相談、ステージ発表、農林産物品評会・模擬店・軽トラ市など盛りだくさんの内容を、訪れた昨年を超える約４千人（主催者発表）の方々が楽しまれました。

オープニングはよさこい絆

三和中学校は全校合唱を披露

軽トラ市も一緒に盛り上げました

細見っ子合唱団

俳句表彰式

午後は三和八幡太鼓の勇壮な演奏から

体育館の展示

800点以上の作品が並びました

空き家と移住者

定住促進・情報発信部会
部会長　和田 憲幸

空き家の多い都道府県はどこだと思う？そう聞かれたら、皆さんはどうお答えになるでしょうか。東北や山陰などの県を思い浮かべる方がおられるかもしれません。しかし、正解は「一極集中」と言われる東京なのです。国内の空き家の十軒に一軒が東京に集中しているというから、まさに「目からウロコ」。

ところで、三和町と福知山市、夜久野町、大江町の一市三町が合併して平成二十八年一月に十周年を迎えます。合併前年の十月末現在の三和町の人口は四千三百七十一人。昨年十一月末現在は三千五百七十八人で、この十年で七百九十三人も減少し、空き家も増えたようです。

流れを少しでも押し止め、三和を元気づけるには皆さんの力が欠かせません。「こんな田舎どうしようもない、と地元民が思っている地域に移住者はこない。まずは住民自らが地域を磨くことが大切。移住者が増えている地域は、住民と行政が地道な努力を十年くらいやってきたところばかり」。島根県で過疎問題に取り組んでいる大学院教授の言葉です。

みわふれあいカフェ
お礼とご報告

8月からいこいの広場でオープンした「みわふれあいカフェ」今年は11月まで開催しました。

計13回の開催で、のべ約350人もの方々にお越しいただきました。

ご利用くださった方々に感謝しながら、12月～3月までお休みします。

来年の再オープンは

4月1日（金）

からの予定です。

4月にまた、お会いしましょうね。

みわふれあいカフェ　スタッフ

開催日

8月28日（金）
9月　4日（金）
9月11日（金）
9月25日（金）
10月　2日（金）
10月　9日（金）
10月16日（金）
10月23日（金）
10月30日（金）
11月　6日（金）
11月13日（金）
11月20日（金）
11月27日（金）

川合元気まつり開催

11月22日（日）、川合集落センター周辺で「川合元気まつり」が開催されました。川合地区公民館が主体となり、川合地区の住民が集って楽しむ場を作ろうと企画されたものです。食の屋台や喫茶、体験・スポーツコーナー、健康相談、農産物販売、大道芸にベリーダンス、川合小学校閉校記念DVDのプロジェクションマッピングも行われました。川合地区の方はもちろん、市内から足を運ばれた方もあり、来場者は500人（主催者発表）でした。

里山紅葉ハイキング
三十三箇所巡りました

福知山観光協会三和支部主催のJRふれあいハイキング「里山紅葉ハイキング～菟原西国三十三箇所と百体観音めぐり～」が11月28日（日）に開催されました。今年から観光協会三和支部の事務局が当協議会へ移り、初めての秋のハイキング。心配していた天候も朝から気持ちよく晴れ、絶好のハイキング日和でした。出発前はとても寒かったものの、三和荘から菟原へと歩いているうちに、寒さもどこへやら。福林寺から西山正さんにガイドしていただき、上ノ山西国三十三箇所霊場をめぐりました。6キロ歩いてきてからの登山はなかなか大変かと思いきや、参加者のみなさんはさすがハイキングに慣れた方々、すいすいと登っておられました。その後梅田神社・両橋と説明を受けながら見学し、最後に龍源寺へ。住職の話を聞きながら百体観音を拝みました。

最後にはお土産もあり、とても充実した一日となりました。

三和音頭
フェスで踊りました

前号でご紹介した「三和音頭」。あれから何度か練習を重ね、ついに「三和ふれあいフェスティバル」で披露しました！

協議会の三部会長は歌の練習日を設けて必死に特訓を重ねました。

「最初は舞台上で自分たちが踊り、その後観客席に降りて観客の方も巻き込んでみんなで踊ろう」という当日のプランも考え、〝楽しく、笑顔で〟を合言葉に、一致団結して本番を迎えました。

原曲からテンポアップした今回のバージョンを聞いて最初は戸惑う方もおられましたが、踊りの練習は回を重ねるごとに人が増えてにぎやかになり、また歌を担当する当日のプランも考え、〝楽しく、笑顔で〟を合言葉に、一致団結して本番を迎えました。

そして迎えた本番。揃いの浴衣をまとい、歌い踊りました。舞台上で踊っている時から、観客席で手を動かしている方もおられ、「一緒に踊りましょう」と声がかかると、多くの方が立ち上がり、輪の中へ入ってくださいました。舞台下で二度踊り、大盛り上がりの中ステージ終了となりました。輪に入り一緒に踊ってくださった方々、客席で温かく見守ってくださった方々、当日までこの時のためにご協力くださった方々、本当にありがとうございました。

三和音頭はこれで終わりではなく、三和地域に再び普及していくための第一歩を踏み出したばかりです。これからまた新たな動きがあれば随時報告しますので、お楽しみに！

地域のこと、支援制度のこと
―気軽にご相談ください―

三和地域協議会事務局では、三つの部会活動やフェスティバルの事務局機能のほか、地域で行われる様々な住民活動の支援をすることも重要な仕事の一つとしています。

昨年は自治会内文書のコピー（有料です）からイベントの看板づくり（実費をいただきます）、地域活性化活動に使える補助金の紹介など、いくつかのお手伝いをさせていただきました。

① 地域を元気にするイベントをしたいが、手続きがわからないし、何か補助金はないか

② 自主的なグループで活動しているが、もっと地域の人に知ってもらいたい

③ 住民や団体の要望を行政に届けるには、どうしたらいいのか

など、悩んでおられる人がいらっしゃいましたら、ぜひ地域協議会事務局にご相談ください。

三和地域をもっと楽しい、住み続けられるまちにするための活動には、京都府や福知山市から様々な支援の制度があります。

また、地域の活動をネットワークで結ぶことによって、新たなつながりや効果が生まれてくることもあります。

みわの未来のため、一緒に考え、活動していきましょう。

地域交通アンケート
ご協力ありがとうございました

三和地域在住の65歳以上の方にお願いしておりました「三和地域の生活交通に関するアンケート」の回答や配布・回収にご協力いただき、ありがとうございました。

三和地域の65歳以上の方は約1500人、そのうち1000人以上の方からご回答をいただくことができました。

今後、事務局で集計・分析を行い、平成28年1月23日開催の講演会（詳細は表面左上記事）で概要を報告する予定です。

編集後記

三和地域協議会設立後、初めての年越しを迎えます。この9ヶ月間、あっという間に感じました。その大半の時間、三和ふれあいフェスティバルに関わっていたように思います。昔は一人の客として楽しんでいただけなのですが、実際関わってみると皆さん色々な思いを持って参加されているのだと知りました。地域の活性化のため、とにかくたくさん人を呼びたい、これを機に新規顧客を得たい、など…。イベントひとつにおいてもこんなに思いが異なるのだから、地域のことともなると、どうすればまちが元気になるか、に対する考え方は違って当たり前ですね。

当協議会では、各部会が色んな方向から、三和地域にとってより良いものとは何かを考え、それぞれの目標に向かって動いています。

申年もどうぞよろしくお願い申し上げます。